

ひろさき 平成28年9月発行 第45号

市議会だより

6月定例会・議案など……………2
 委員会等活動報告……………2～3
 6月定例会・一般質問……………3～7
 議案等に対する各議員の賛否状況……………6～7
 議員の行政視察など……………8

平成28年4月2日から平成28年6月30日までの出来事を掲載しました。

ねぷた 出陣前
 ～『ひろさきとまち百景』から～



このイラストは、制作者である津軽ひろさきマーチング委員会の承諾のもとに、使用しています。

議 会 ト ピ ッ ク ス

全国市議会議長会議員表彰

全国市議会議長会より以下の議員に対して、永年勤続表彰が行われました。(敬称略)

特別表彰

(議員在職25年以上)

下山文雄
 高谷友視

一般表彰

(議員在職15年以上)

栗形昭一
 清野一榮

(議員在職10年以上)

石岡千鶴子



下山文雄



高谷友視



栗形昭一



清野一榮



石岡千鶴子

旭日双光章を受章

このたび、吉田銀三元議長が地方自治に対して多大な貢献をされ、めでたく米寿をお迎えになられたことに対し、国から高齢者叙勲が授与されました。

6月23日(木)、下山議長が吉田銀三元議長のもとを訪ね、伝達を行いました。



吉田銀三元議長(左)と下山議長

平成28年第2回定例会

市長提出議案 15件

主な議案

6月補正後の平成28年度予算

一般会計 807億4993万4千円
 (6月補正額 2億8993万4千円)
 特別会計 471億9264万9千円
 (6月補正額 18億1158万2千円)

○平成28年度弘前市一般会計補正予算(第2号)

4月17日から18日にかけての暴風被害に係る農業用ハウス暴風被害対策事業費補助金や岩木山百沢スキー場休憩施設解体事業、寄附金を活用した小・中学生英語パワーアップ事業などの事業費を追加するほか、相馬小学校スクールバスの更新について、今年度の支出が見込まれなくなったことにより、これに係る経費を減額するのが主な内容です。 補正額 1億2891万9千円

○平成28年度弘前市一般会計補正予算(第3号)

国の地方創生推進交付金(新型交付金)を活用する事業として、弘前デザインウィークのさらなる展開を図る「シティプロモーションパワーアップ戦略推進事業」のほか、弘前版生涯活躍のまち構想の実現に向けた



現存12天守である弘前城

「弘前版生涯活躍のまち推進事業」などに係る経費を計上したほか、東北観光復興対策交付金を活用してのインバウンド対策事業として、弘前城を含む現存12天守のPR映像を海外へ向けて発信する「現存12天守PRプロジェクト」などの経費が主な内容です。 補正額 8490万7千円

○弘前市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険料の基礎賦課額及び後期高齢者支援金等賦課額の限度額並びに軽減適用に関する所得判定基準を改定するため、所要の改正をしようとするものです。

予算案に対する討論

平成28年度弘前市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)での反対・賛成それぞれの立場の要旨を掲載します。

○反対の要旨 以下の理由で反対する。

- ・18億900万円を繰り上げ充用しなければならない不安定な国民健康保険財政
- ・経済的な理由で必要な医療が受けられない実態
- ・国保の運営主体が県へ移行することへの疑問

○賛成の要旨 以下の理由で賛成する。

- ・国民健康保険財政の健全化に向けた収納対策や医療費適正化などの施策展開
- ・医療費適正化のためのキャンペーンの展開
- ・データヘルス計画に基づく、訪問指導を強化

人事案件 1件

○人権擁護委員候補者の推薦について(3名)

任期満了となる人権擁護委員の後任候補者の推薦について、人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を求めるものです。

鶴谷郁子氏(再任)、小田桐ミツエ氏(再任)、齊藤晶子氏(新任)

請願 2件

○子ども医療費の所得制限をなくし中学校卒業まで無料にすることを求める請願 …… 不採択

○OTPP協定を国会で批准しないことを求める請願 …… 不採択

委員会等活動報告

経済文教常任委員会

協議会

- 6月3日(金) 市役所
- ①平成28年度行政視察について
- 6月21日(火) 市役所
- ①平成28年産りんごの生育状況について

6月3日(金) 市役所

①閉会中の継続審査について

6月20日(月) 市役所

- ①弘前市立小学校統合案の対象校の現状について
- ②弘前図書館・郷土文学館への指定管理者制度導入に関する進捗状況等について
- ③平成28年度全国標準学力検査業務及び知能検査業務に関する対応状況等について

一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。
 ※敬称略。()は所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



佐藤 哲 (弘新会)

学校司書について

問 学校図書館を機能させ、学力向上のために、図書予算増額と学校司書の配置を進めるべきでは。

答 図書整備費用について、国の定める整備率を達成できない学校もあるが、着実に整備を進める。学校司書は学校図書館の機能充実に大きな役割を果たすと考えるが、早急に配置することは難しい。

市立図書館の指定管理について

問 導入の時期を明らかにし、運営方法を市民に早期に示すべきと考えるが。

答 平成29年4月の導入を目指す。運営方法については、司書等の充実を図り、使いやすい図書館にしていきたい。

問 市立図書館後援会解散への対応。

答 指定管理者制度の導入方針について、教育委員会からの十分な説明がないことが大きな影響を与えた。今後は市民の学びを支援できる図書館にしていきたい。



栗形 昭一 (無所属クラブ)

弘前市町会等事務費交付金について

問 町会では昨年度から県議会だよりの配布が加わり事務が増加。県広報紙関係の委託金を町会にも配分すべきでは。

答 弘前市町会等事務費交付金は、市が依頼する事務への協力に対して、1町会あたり1万円と世帯数に700円を乗じた額の合計を各町会に交付している。今後は市町会連合会と意見交換を行い、町会への支援のあり方を検討していきたい。

市の財政資金繰りについて

問 平成27年度末の一時借入金の発生はどのように。

答 平成27年度末の一時借入額が58億1191万2635円で、平成26年度と比較して、31億6366万3951円増加している。要因は前年度に比べ、収支差引不足額が一般会計で約13億8千万円、国保特別会計では約7億5千万円、介護保険特別会計では約10億円増えたため。



尾崎 寿一 (自民・公明・憲政)

三岳川の浸水対策について

問 三岳川流域での浸水被害状況と発生原因及び雨水貯留施設の概要と整備スケジュールについて問う。

答 三岳公園を含む公共用地内に、学校の25メートルプール106杯分相当の1万7千トン貯留できる雨水貯留施設を計画しており、下流へ流れ出る水量の調節により、浸水被害が解消できると考えている。整備のスケジュールは、まず

三岳川河川用地に雪置き場としても活用できる約3,600トン分を整備し、今年度は地下水調査を実施し、来年度から着手する予定。同時に県管理の腰巻川の改修についても早期改修を要望していく。

〈その他の質問項目〉

○全国標準学力検査・知能検査業務について ○「弘前市公共施設等総合管理計画」の概要と施設評価の進め方について ○プレミアム商品券の総括について



千葉 浩規 (日本共産党)

弘前霊園(墓地公園)の利用状況について

問 「高齢者が気軽に墓参りができ、寂しい気持ちを慰め元気が出るような公園を」との市民の声を紹介。墓地公園への送迎バスの運行状況、供物・供花への対応を問う。

答 バスは今年度もお盆の8月13日の運行を予定している。廃止になった彼岸の運行については、利用者から再開の要望

があることを弘南バスに伝える。

供物等においては衛生管理の観点から早めの清掃を行っているが、花下げを望まない場合は、管理事務所に伝えることで手をかけないよう対応している。

〈その他の質問項目〉

○学力向上対策事業(標準学力検査・知能検査)について ○弘前市立図書館への指定管理者制度の導入について ○入札制度の改善について

厚生常任委員会

協議会

- 6月20日(月) 市役所
- ①弘前市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)について
- ②福祉避難所設置・運営訓練の視察について

建設常任委員会

協議会

- 6月21日(火) 市役所
- ①岩木川ラバーダムの操作について
- ②弘前市一般廃棄物処理基本計画の概要について
- ③家庭系ごみの有料化の検討状況について

議員全員協議会

協議会

- 6月24日(金) 市役所
- ①平成29年度青森県に対する重点要望事項(案)について

政務活動費調査検討委員会

協議会

- 5月27日(金) 市役所
- ①政務活動費の運用について



石岡 千鶴子
(弘前市民クラブ)

農業行政について

問 TPP対策の一環として、農業者等を支援する「産地パワーアップ事業」の申請状況と課題について。

答 事業の要件を満たし県へ要望しているのが合計で18件。要望をいただきながら県への申請に至らなかった案件が多数あることを踏まえ、今後とも事業の説明や申請の相談など丁寧に対応していく。また、効率的・高収益な生産出荷体制を

実現するため、一人でも多くの方がこの事業を活用できるよう農業者の皆様の声をも、県に伝えてまいりたい。

教育行政について

問 小学校の統廃合について、統廃合以外の選択肢をどう考えているか。

答 児童生徒数やクラス数などの一定の条件だけで判断せず、地域住民や保護者の方々の願いや状況を踏まえながら、より良い教育環境を整えてまいりたい。



伏見 秀人
(弘新会)

災害時における良好な生活環境の確保に向けた取り組みについて

問 福祉避難所の対応について。

答 運営の仕組みを検証し、災害時に機能する体制を確実なものとするため、開設訓練をはじめ、運営体制の充実を図るべく、可能なところから順次、取り組む。

問 避難所におけるトイレについて。

答 市民のとるべき措置として携帯トイレの備蓄をお願いするとともに、避難所

において仮設トイレの設置に努める。

問 避難所におけるペット対応について。

答 災害発生時における避難所の受け入れスペースの確保や避難所内での対応等について調査・検討してまいりたい。

「共通投票所」の設置条件と検討方法について

問 設置条件検討の上、導入の時期は。

答 早い時期に導入出来るよう準備を進めてまいりたい。



越 明 男
(日本共産党)

弘前ねぶたまつり駅前コースについて

問 ホテルナクアシティ弘前と三珠産業前の中央分離帯部分が支障となっている、との声が寄せられている。また、みちのく銀行弘前営業部前の道路標識を速やかに調査し、支障との認識があれば、一時移転、撤去も含め検討されたい。

答 中央分離帯が設置されている大町付近の市道弘前駅土町線の区間では、ねぶたを左右の道路に振り分け、交互に通

過させて、ねぶたやお囃子が前後の団体と重ならないように進行管理を行っている。以前より、合同運行の参加団体からは、「中央分離帯が無い方が運行しやすい。」との声はあったが、これまで運行に工夫を加えてきたところである。また、みちのく銀行弘前営業部前の道路標識については、ねぶたを下げることで通過できるものと判断しており、撤去については考えていない。



小田 桐 慶二
(自民・公明・憲政)

国民健康保険について

問 累積赤字の推移及び理由について。

答 平成17年度以降、実質単年度赤字が続き、22年度に保険料率を改定し向こう3年間で赤字解消を目指したが、リーマンショック等の影響と想定を上回る保険給付費により赤字解消されなかった。

問 今後の累積赤字解消策について。

答 本年4月、庁内に「社会保障費等に関する研究会」を立上げた。国保財政赤

字解消策の方向性を本年中に示したい。

子供議会について

問 これまでの総括について。

答 平成23年度に開始し、これまで延べ500名を超える児童生徒が参加した。子供たちが年に一度、議場に集い、話し合いを重ねてきたことは非常に意義深い。各校の地域性や校風に基づいた意見を交流できる弘前方式による子供議会は、一定の成果を出していると認識している。



一戸 兼一
(弘新会)

スマートシティ構想について

問 地熱発電、インフラプロジェクト、温泉排水等を活用した融雪の概要は。

答 地熱資源開発調査事業は、昨年度は発電に繋がる熱水・蒸気を確認できなかったが、有望エリア内に地熱資源が存在する可能性を示唆する結果を得たことから、今後の事業展開は独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物機構の意見や評価を得ながら調査を継続する。また、弘前市

分散型エネルギーインフラプロジェクトは、中心市街地にエネルギーセンターを設置してエネルギーの自立と安心・快適な都市空間の創造を目指すもので、今後は民間事業者と連携し事業効果等を見極めながら検討を深める。さらに、温泉排水等を利用した道路融雪は、導入地域がある程度限定されるが、実施した地区では融雪機能が発揮されるとともに地元から概ね満足しているとの回答を得ている。



木村 隆洋
(自民・公明・憲政)

前川建築について

問 今後のあり方、観光資源としての活用について問う。

答 前川氏が師事したコルビュジエ作品の世界文化遺産登録を契機に、市内に現存する前川氏の初期から晩年までの作品に触れ、作風の変化を体感できることを市内外へ広く情報発信していく。

海外における「弘前ブランド」の確立について

シティプロモーションについて

問 市の考え及びターゲットを問う。

答 本年1月には、市民一人ひとりの弘前への郷土愛を育てていくことを目指した、シティプロモーションパワーアップ戦略推進事業として、「弘前デザインウィーク」がスタートした。魅力ある資源を一層磨き上げ、東アジアを主なターゲットとして更なる推進に努めていく。

教育行政について

吉野町緑地周辺整備事業の現状について

問 基本計画の内容及び周知方法等は。

答 運営及び整備の基本方針として多様なジャンルを扱うとともに、創作活動の拠点機能になることを目指し、吉野町緑地と一体感のある施設として整備する。今後、市ホームページ等で周知していく。PFI事業での実施を想定しており、最優秀提案者と年度内に仮契約を締結したうえで、本契約について議会に諮りたい。



野村 太郎
(自民・公明・憲政)

介護保険について

問 市町村が実施主体となる新総合事業への移行に対する市の対応と市民、事業者への説明時期について問う。

答 来年4月からの実施に向けて、現時点では従来の介護予防給付の訪問介護、通所介護及び筋力向上トレーニング等の介護予防事業のサービス実施を予定しており、これまで提供されてきたものと同じと考えている。事業者説明会は年内に



石田 久
(日本共産党)

問 「弘前ブランド」の担保となる商標登録について市の対策を問う。

答 中国において「弘前」という商標登録が申請され、5月に出願公告がなされたため、異議申し立てを行う予定。今後は対策チームを中心に、関係団体と連携しながら「弘前ブランド」の確立に向け取り組みを進めていく。

〈その他の質問項目〉
○観光振興 ○家庭系ごみの有料化

問 名札などの個人名表示を問う。

答 登下校時の名札着用については、小学校では半数、中学校では全ての学校が着用している。他の自治体を参考に、名札着用等の在り方を検討していく。

問 SNSの適切な指導及び管理を問う。

答 ネットパトロールを行い、児童生徒の不適切と思われるSNS等の使用については、各学校に情報提供を行い、対応と指導を求めている。

教科書採択について

問 検定中の教科書閲覧問題における当市の状況は。

答 あくまで当市の調査結果だが、教科書発行者が対価を伴わず、検定中の教科書を教員等に閲覧させ意見を聴取した事案に該当する教員は13名、対価を支払った事案に該当する教員は5名。極めて残念であり、採択の公正の確保が徹底されるよう再発防止に取り組んでいく。

実施し、市民へは広報等で周知する予定。事業の対象経費については上限があり、国の上限額を超えた場合は個別に判断し、特殊事情として認められない場合は市の一般会計から負担することとなる。〈その他の質問項目〉

○国民健康保険 ○津軽地域保健医療圏における自治体病院機能再編成 ○都市計画道路3・4・20号等 ○60歳以上の体育施設無料化

平成28年第2回定例会日程 (22日間) ○傍聴者の数：延べ122人

6月3日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	6月21日(火) 常任委員会	予算決算
	常任委員会	6月22日(水)～6月23日(木)	議事整理
6月4日(土)～6月13日(月)	経済文教	6月24日(金) 本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
6月14日(火)～6月16日(木)	議案熟考		
	本会議		
6月17日(金) 本会議	一般質問		
6月20日(月) 常任委員会	一般質問、議案付託		
	総務、厚生、経済文教		

今年はまだ延べ203人が傍聴しています。日程をご確認の上、お気軽にお越しください。





蒔 苗 博 英
(自民・公明・憲政)

りんごの販売促進対策について

問 機能性表示に係る取り組みは。
答 昨年夏から国立研究開発法人農業・食品産業総合研究機構果樹研究所とつがる弘前農業協同組合で試験的に始まっており、今年3月には研究プロジェクトが立ち上がった。機能性表示が可能となった場合、りんごが持つ健康機能を発信でき、高付加価値が図られ、りんごの消費拡大に繋がっていくものと期待している。



加藤 とし子
(弘前市民クラブ)

介護保険について

問 過剰なサービス提供による不正請求や基準違反、有料老人ホーム等に入所した場合、同系列のサービス事業所の利用を勧める「囲い込み」の現状について。
答 当市の事業所でも基準違反等で処分を受けているが、ケアプラン点検事業により、過剰なサービス計画は減少したと考えている。囲い込みは県の指導対象となるが、利用者の状況により同系列の方



今 泉 昌 一
(無所属クラブ)

弘前の観光の現状と課題について

問 観光の課題及び通年観光の現状はどうなっているか。
答 当市では、まつり観光に加え通年観光の推進や宿泊者数の増加が課題であると認識しており、本年度は、四大まつり以外にも埋もれた観光資源の掘り起こしや磨き上げ、さらにそれらを組み合わせることにより、弘前の魅力向上を図り、年間を通した観光振興に努める。

弘前ビジネス支援センターについて

問 実績と事業効果は。
答 平成27年度、相談人数が116人で、延べ135件、うち創業に結び付いたのが22件。創業・起業者数の増加や新規雇用の創出に加え、空き店舗活用による中心市街地の活性化、成功事例がふえることによる創業に挑戦する機運の高まり、さらには女性の社会進出の貢献など、事業効果が広がっていると考えている。

が安心、安全な場合も想定される。

公契約条例について

問 他自治体の導入状況、市の考え方は。
答 16の自治体で条例を制定している。当市は建設工事等で総合評価落札方式、最低制限価格を設定し、過度な価格競争によるダンピング防止に努めている。
〈その他の質問項目〉
○生活困窮者対策 ○男女共同参画プラン ○今冬の除雪 ○ごみ減量化施策

自然災害に対する備えについて

問 市周辺の断層調査は行っているか。また、想定される地震の規模は。
答 地震災害・風水害・土砂災害等が発生した場合の被害想定や危険個所の把握などを目的とした防災アセスメント調査では、市周辺に活断層は確認されていない。また、「青森県地震・津波被害想定調査」では、当市で想定される最大震度は6弱となっている。



松 橋 武 史
(弘 新 会)

外国人の移住者について

問 東目屋地区の受入態勢について。
答 東目屋地区をモデル地区として位置付け、地域住民や庁内関係課で組織する「移住受入研究会」を設立。受入態勢と住民の機運の醸成が図られてきた。
問 外国人の小・中学生の試験方法・学力検査の配慮について。
答 学力を正確に把握する必要があるテストや中学校の定期テストは、母国語に



工 藤 光 志
(自民・公明・憲政)

弘前市埋立処分場第2次整備事業第2区画造成工事の進捗状況について

問 進捗状況、補正予算に至った経緯。
答 人件費の大幅な上昇や資材の高騰による予算不足、施工の見直しによる計画変更、それにより新たに必要となった工事の精査など、様々なアクシデントが発生したことから、今年度5月末時点で、進捗率74%となっている。電気関連工事について、工事発注時には最低限必要な

翻訳して受けさせる等の工夫をし、日本語の能力差によって不利益が生じることがないように配慮し対応している。

消防団員について

問 地域貢献に対する優遇策及び観閲式。
答 消防団の優遇策として、団員や家族が公共施設を利用する際の使用料の減免については、要望があった際に調査・検討。消防団観閲式は、来年度もこれまでどおりレクリエーション広場で実施。

設備等で対応しようと考えていたが、本年3月の変更契約後、改めてポンプの制御方法や動力等について、検討・精査したところ、増工等見直しが必要となることが判明。工事費において約1億3千400万円の不足となったことから、補正予算となったもの。平成29年10月供用開始を目指したいと考えている。
〈その他の質問項目〉
○観光行政について

弘前市議会ホームページ <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

○本会議、予算決算常任委員会の様子をインターネットによるライブ中継を行っています。また、録画中継は、会議終了後、原則7日でご覧いただけます。
○平成18年第1回臨時会からの本会議の会議録が閲覧できます。また、平成24年9月定例会以降の会議録では映像と会議録が連動したものが閲覧できます。

弘前市議会 インターネット中継

弘前市議会 会議録

検索



議案等に対する各議員の賛否状況

議案は、○は賛成、●は反対。請願は、○は採択、●は不採択。－は採決に加わらなかったもの。議長(下山文雄)は採決に加わっていません。※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

議案名	採決結果	木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾崎寿一	蒔苗博英	松橋武史	今泉昌一	小田桐慶二	伏見秀人	鶴ヶ谷慶市	鳴海毅	石岡千鶴子
事件処分の報告及び承認について(事件処分第4号) ※平成28年度弘前市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
弘前市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について 【市庁舎改修工事(建築工事)】	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子ども医療費の所得制限をなくし中学校卒業まで無料にすることを求める請願	不採択	●	○	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	○
T P P協定を国会で批准しないことを求める請願	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴できます。市役所本館4階で受付していますので、お気軽にお越しください。

議員名	加藤とし子	一戸兼一	小山内司	石田久	三上秋雄	佐藤哲	越明男	工藤光志	清野一榮	田中元	栗形昭一	宮本隆志	高谷友視	下山文雄	柳田誠逸
議案1	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成28年第2回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、承認、可決、同意となりました。
市長提出議案：15件
予算関係：6件、条例関係：5件、その他：4件

平成28年第3回定例会日程(予定)

(8月19日(金) 議会運営委員会 会期日程等の協議)
8月26日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
9月23日(金) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

定例会の一般質問のラジオ放送

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合も有り

議場外での活動

6月議会中に議員対象の新庁舎、岩木庁舎、はるか夢球場の見学会などが行われました。



6月17日 新庁舎完成見学会



6月21日 岩木庁舎大規模改修工事完成現地説明会



6月23日 はるか夢球場工事状況見学会

会派一般行政視察

弘前市民クラブ

5月9日(月)～12日(木)

- ① 沖縄県那覇市
 - 学校給食のアレルギー対応食について
- ② 沖縄県宮古島市
 - 障がい者等の自発的活動支援事業について
 - 認知行動療法を中心としたデイケアについて
- ③ 沖縄県石垣市
 - 台風災害事前対策及び災害時要援護者対策について



宮古島市役所にて

委員会行政視察

厚生常任委員会

5月17日(火)～20日(金)

- ① 京都府京都市(市民後見センターきょうと)
 - 成年後見制度の支援拠点について
- ② 岡山県岡山市
 - 介護予防ポイント事業について
 - おかやまオレンジカフェについて
- ③ 香川県丸亀市
 - 丸亀市役所イクボス宣言について

総務常任委員会

5月23日(月)～25日(水)

- ① 岐阜県高山市
 - 移住促進の取り組みについて
- ② 富山県富山市
 - シティプロモーション推進事業について

建設常任委員会

5月23日(月)～26日(木)

- ① 長野県上田市
 - 運賃低減バスの取り組みについて
- ② 石川県七尾市
 - 七尾美術館について
- ③ 新潟県上越市
 - 再生可能エネルギーの導入推進事業について

経済文教常任委員会

6月27日(月)～30日(木)

- ① 愛知県安城市
 - 中心市街地拠点整備事業について
- ② 岐阜県高山市
 - インバウンド推進について
- ③ 石川県小松市
 - ひととものづくり科学館について



ひろさき市議会だよりは環境にやさしいインキを使用しています。